

漢字博士になろう ～日本語を大切にし、日本人としての誇りや国を愛する心を育成する～					カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	
						国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	
校種	小	中	高	特	学年等	全学年	参加対象	生徒	家庭地域	教職員
教科等	全教育活動					時期・時間	通年			

1 プログラムのねらい

○東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催により、外国の方が数多く訪れることが予想される。この機会を捉え、「漢字の学習」を通して基本的な知識を学ぶことで、日本人として母国語に誇りを持つとともに、生活の場面で多様に活用できる能力を育てる。

2 準備等

- 「栄中検定」に係る問題・回答・テスト用紙
- 漢字検定の試験会場としての準備

3 取組の概要

- 栄中検定の取組
 - ・各学年・教科ごとで必要とされる漢字のテストを作成する。
 - ・作成したものの中から、毎月の初めに、20問程度の漢字を提示し、栄ノートに家庭学習をさせる。
 - ・栄中検定（月初めに提示した中から選んだ10問の漢字テスト）を実施する。
 - ・全8回の検定が全て満点だった生徒は、年度末に表彰する。
- 漢字検定の取組
 - ・学期に1回漢字検定を会場校として実施する。
 - ・実施する際に在校生徒・地域住民・保護者に対して申し込み案内を行う。
 - ・検定の申し込みを受けるとともに、在校生並びに外部から受験する地域住民等に対しても問題集の貸し出しを行う。
 - ・在校生については、1年生3級・2年生準2級・3年生2級の合格者に対し、漢字博士として表彰し、校内に掲示する。



4 おすすめのポイント

○本校学校教育目標は「澁刺颯爽（はつらつさっそう）」の四字熟語である。体育祭・合唱コンクールなど生徒が発案する行事のスローガンも四字熟語を用いたものが多い。また、卒業期には漢字1文字を決めて掲示パネルを作成し、卒業記念として在校生に渡している。このように漢字検定への取組を中核とし、生徒の生活全般において「漢字」が根付いている。